

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	標津町
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

1. 目指す姿

標津町の主要観光施設である標津サーモン科学館は平成3年9月にオープンし27年経過していることから、屋内外の設備の経年劣化が著しい状況にあるため、施設整備等を計画的に行い、多くの観光客が訪れ快適に利用される施設を目指す。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ サーモン科学館入館者数(51,500人/年)

＜重点施策＞ 世界自然遺産「知床」、ラムサール条約湿地や史跡など地域の自然・文化財の観光への活用を目的とした交流施設の整備などの促進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
入館者数	48,651	45,337	49,791	49,610	50,160	50,830	51,500

■目標設定の考え方

第7期振興計画期間中における最大実績を勘案のうえ設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
サーモン科学館 入館者数 (51,500人)	○サーモン科学館を含めた施設改修により、鮭を軸とした体験型観光を推進し、周遊型広域観光の促進を図る。	標津サーモンパーク新規魅力づくり事業(地域づくり総合交付金) 各種イベント等の実施により入館者の確保を図る傍ら、チョウザメの養殖性能拡大に向けた井戸掘削及び販売等事業の推進を行い、収益事業の拡大と新たな地域資源の確立を目指す。

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	標津町
-----	-----

施策の基本的な柱	ゆとりと安心の実感できる地域社会の形成
施策項目	医療の確保
1. 目指す姿	
地域の唯一の医療機関として地域医療に積極的に取組むとともに、地域の医療福祉施設や行政機関と連携を取りながら、公平・公正な医療を提供し、病院機能の充実を図ることで、地域住民の健康の維持管理を図り、地域の発展に貢献する。	

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 年間外来患者数(24,700人)

＜重点施策＞ 地域の医療機関機能の充実のための医療機器導入や施設・設備等の整備推進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分 年度	7期 H29 (実績)	8期					
		H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
外来患者数	24,026	24,573	24,200	24,150	24,333	24,516	24,700

■目標設定の考え方

直近3カ年の平均外来患者数を勘案の上設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
外来患者数 (24.7千人)	○地域住民の健康の維持増進に向け、医療機器の更新整備など医療提供体制の充実を図る。	国保標津病院医療機器整備事業(基金補助金) 画像管理システムは、各種検査機器(モダリティ)から画像データ等を受信し、データベースへ保存し、端末に表示するシステムであり、電子カルテとの連携により患者診療の効率化や患者紹介等での高次医療機関への情報提供に活用するものである。 現在の標津病院で使用されている当該機器は、導入から6年を経過(耐用年数5年)しており、今後のデータ保存においてデータの管理及び容量において支障が生じる恐れがあることから更新する。

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	標津町
-----	-----

施策の基本的な柱	ゆとりと安心の実感できる地域社会の形成
施策項目	教育・文化・スポーツ及び国際化の振興

1. 目指す姿

これまで建設した学校施設やスポーツ施設などの老朽化が進んでいることから、今後も持続して学校運営を進めていくために、児童・生徒はもちろんのこと、現場で働く教師などにとっても安全で衛生的な学校環境の確保を図るほか、計画修繕を行うことで施設の長寿命化を促進し、町内の公共施設全体の維持管理経費の削減及び平準化を図る。

安全で安心な給食の提供機会を確保することにより、児童・生徒の食育を推進し、令和2年度より開始の高校給食の提供により保護者負担を軽減するほか、ふるさと給食による愛郷心の醸成を図る。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 学校教育施設の長寿命化

＜重点施策＞ 小中学校等の既存施設の耐震化整備や老朽化対策、スクールバスの整備等の促進

■設定目標及び達成状況

(単位:年)

区分	7期	8期				
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)
建替周期	47	47	50	50	53	56
						60

■目標設定の考え方

「標津町公共施設等総合管理計画」(建替え周期は大規模改修を経て60年)を踏まえ設定

＜目標＞ 給食提供数(112,000食)

＜重点施策＞ 小中学校等の既存施設の耐震化整備や老朽化対策、スクールバスの整備等の促進

■設定目標及び達成状況

(単位:食)

区分	7期	8期				
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)
給食提供数	112,000	112,901	112,000	112,600	112,000	112,000
						112,000

■目標設定の考え方

「標津町人口ビジョン及び総合戦略」に基づき設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
施設の長寿命化(60年)	○各種防水工事により躯体の劣化を防止し、安全で衛生的な学習環境の確保及び建物の長寿命化を図る。	標津小学校屋上防水改修工事(基金補助金) 標津小学校の屋上防水工事を行い建物内への雨水侵入を防止することで、安全な学習環境の確保を図る。
給食提供数(112,000食)	○給食を提供できない期間が生じないよう計画的に機器更新などを行う。	学校給食センター施設整備事業(基金補助金) 自動制御盤を年次更新計画どおりに更新を行い、安定的な給食の供給を図る。

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	羅臼町
-----	-----

施 策 の 基 本 的 な 柱	活力ある地域経済の発展
施 策 項 目	水産業の振興

1. 目指す姿

当町の基幹産業である漁業の安定供給の確保及び沿岸の健全を図るために、引き続き沿岸資源の増大と適切な漁業管理を推進することにより、水産物の需要拡大と付加価値向上に努める。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ ウニの水揚げ高(175t)、ホタテの水揚げ高(54t)、カレイの水揚げ高(312t)

＜重点施策＞ ホタテやホッキ、ウニ、ナマコ等の効果的な種苗放流事業の推進など、海域の特性に応じた栽培漁業の展開

■設定目標及び達成状況

(単位:t)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
ウニ水揚高	105	130	130	145	147	165	175
ホタテ水揚高	6	8	15	9	27	40	54
カレイ水揚高	280	258	288	240	296	304	312

■目標設定の考え方

H25からH29の水揚げ高を勘案の上設定

＜目標＞ 知床らうす産商品のブランド化(認証品67品)

＜重点施策＞ 多様な消費者のニーズや厳しい価格競争に対応するための新たな流通形態の開拓や食のブランド化の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:百万円)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
認証件数	57	59	61	48	63	65	67

■目標設定の考え方

羅臼町総合戦略に基づき設定

＜目標＞ 漁港整備(着実な整備)

＜重点施策＞ 漁港施設の長寿化を図るための補修・改修の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:箇所)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
漁港整備箇所	4	4	4	4		着実な整備	

■目標設定の考え方

町内漁港の着実な整備や早期完成などを関係機関に要望する。

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
ウニの水揚げ高(175t)	○種苗生産・放流、移植事業などによる水産資源の維持管理を図る。	<p>ウニ種苗放流事業（漁協実施事業） 生産したウニ種苗を放流し、資源増大を図る。（令和2年度は250万粒の放流事業を行う予定。）</p> <p>ウニ移植事業（基金補助金） ウニの餌料となる海藻類の現存量が少ない状況にあることから、ウニの分布密度が高い場所からウニの分布密度が低い場所に適正密度での放流を行う。</p> <p>ウニ種苗生産事業（加速化補助金） 生産した種苗を養殖籠で2～3年間かけ育成し、ウニの生産体制の安定化を図る。</p>
ホタテの水揚げ高(54t)	○種苗放流、駆除事業などにより水産資源の生産の安定を図る。	<p>ホタテ貝放流事業（漁協実施事業） ホタテ稚貝130万粒（3.5cm以上）を購入し、当町前浜に放流を行う。</p> <p>ヒトデ駆除事業（推進費補助金） 町内各地先でヒトデの発生が相当量確認され、ホタテ貝に対する食害が問題となっていることから、ヒトデ駆除を行う。</p>
カレイの水揚げ高(312t)	○駆除事業などにより水産資源の生産安定を図る。	ヒトデ駆除事業（推進費補助金） 町内各地先でヒトデの発生が相当量確認され、カレイに対する食害が問題となっていることから、ヒトデ駆除を行う。（ヒトデ食害に加え、漁業者の人数減により、R1は実績減となったところであります、来年度以降、刺し網漁船を増やすことにより対応する予定）
ブランド化認証件数(67件)	○新たな流通の開拓や食のブランド化の推進を図る。	特產品PR事業（町単独事業・漁協実施事業） 首都圏などで開催する各種物産展に出店し、「知床らうす」の知名度を活かし、水産物などのPR活動を行い、新たな販路拡大を図ることで、ブランド化の推進を図る。
漁港整備箇所(着実な整備)	○漁港や流通加工施設の整備促進を図る。	水産基盤整備事業（国庫補助事業） 生産や流通拠点となる漁港・流通加工施設の整備促進を図るために要望活動を実施する。

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

1. 目指す姿

世界自然遺産「知床」の知名度を生かし、ホエールウォッチング、北方領土視察及び体験型観光の推進と定着を図ることにより、観光客入込とリピーターを増大し、通過型観光から滞在型観光へと脱却を図る。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 観光客入込数(600千人/年)

＜重点施策＞ 通年型・滞在型観光への転換に向けた近隣地域との広域的なネットワークの形成、海洋ルートを含めた周遊型観光ルートの構築、観光メニュー作成に向けた取組の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:千人)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
観光客入込数	552	509	570	550	580	590	600

■目標設定の考え方

H27～H29の3ヶ年平均入込客数及び伸び率を勘案の上設定

＜目標＞ 修学旅行訪問校(15校)

＜重点施策＞ 通年型・滞在型観光への転換に向けた近隣地域との広域的なネットワークの形成、海洋ルートを含めた周遊型観光ルートの構築、観光メニュー作成に向けた取組みの推進

■設定目標及び達成状況

(単位:校)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	R1 (実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
修学旅行訪問校	4	4	9	11	11	13	15

■目標設定の考え方

内閣府の成果目標などを勘案の上設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客 入込数 (600千人)	○観光客の増加を図るとともに、通過型観光から滞在型観光への転換に向け、道内外でのPR活動等を行う。	誘致PR活動事業及び道内外でのPR活動（観光協会実施事業） 首都圏開催での商談会などに参加し、羅臼の魅力をPRすることで観光客拡大を図る。 知床羅臼体験型観光の推進事業（加速化補助金） 当町の地域特性や恵まれた自然環境などの豊富な観光資源を活かした体験型観光などを掲載したパンフレットを道内外のイベントなどで配布し、当町への観光客拡大を目指す。

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客 入込数 (600千人)	○観光客の増加を図るとともに、通過型観光から滞在型観光への転換に向け、道内外でのPR活動等を行う。	<p>H P を活用したPR事業（観光協会実施事業）</p> <p>知床羅臼町観光協会でのH P等の情報を更新し、羅臼町の魅力を全国に向け発信する。</p> <p>道の駅「知床・らうす」周辺駐車場舗装改良工事事業（推進費補助金）</p> <p>道の駅「知床・らうす」の既存駐車場が利用者数に対して手狭なため、隣接する私有地などを町内最大規模の駐車場として舗装整備し、観光客の増加を図る。</p>
修学旅行 訪問校 (15校)	○道内外からの修学旅行訪問客拡大に向けPR活動を行う。	<p>誘致PR活動事業及び道内外でのPR活動（知床羅臼町体験学習推進協議会事業）</p> <p>首都圏開催での商談会などに参加し、羅臼の魅力について、パンフレット等を活用してPRを行い、道内外から当町への修学旅行訪問拡大を目指す。</p> <p>知床羅臼体験型観光の推進事業（加速化補助金）</p> <p>当町の地域特性や地域の恵まれた自然環境などの豊富な観光資源を活かした体験型観光などを掲載したパンフレットを配布し、修学旅行訪問の拡大を目指す。</p>

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	ゆとりと安心の実感できる地域社会の形成
施策項目	医療の確保

1. 目指す姿

地域の実情に応じた効果的・効率的な看護職員の離職防止対策をはじめとした総合的な看護職員確保対策に関する事業を展開し、当町唯一の24時間救急医療体制を備えた「知床らうす国民健康保険診療所」の持続可能な医療体制を確保する。

また、一般治療及び歯科医療による在宅・訪問医療体制の基盤を確保し、疾病や要介護度の重度化を予防し、当町の医療ビジョンである「医療・保健・福祉・介護の推進による地域包括ケア」を推進するための医療を提供する。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 看護師確保数(16名)

＜重点施策＞ 地域の医療従事者の安定的な確保に向けた養成・確保の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期						
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
看護師確保数	14	14	15	16	16	16	16	16

■目標設定の考え方

知床らうす国民健康保険診療所で24時間救急医療体制を安定的に維持するために必要な人数を勘案の上設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
看護師確保数 (16名)	○各種制度を活用しながら道外病院等からの看護師確保対策を図る。	へき地医療研修事業(非予算事業) へき地医療研修として島根県松江市立病院より看護師受入(2名)を実施する。 修学資金貸付事業(町単独事業) 修学資金を貸し付けることで、町内の将来的な看護師確保を図る。 インターンシップ事業(非予算事業) 町内の中・高校生を対象に、診療所などで看護師職の職場体験を行い、看護学校への進学を推進し、将来的に当診療所の看護師確保を図る。 移住体験モニターツアー事業(町単独事業) 全国から看護師等を対象とした移住体験モニターツアーを実施し、応募者については、羅臼町内の診療所で職場体験や観光体験などを行い、当診療所における看護師等の確保を図る。

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	ゆとりと安心の実感できる地域社会の形成
施策項目	教育、文化、スポーツ及び国際化の振興

1. 目指す姿

これまで建設した羅臼町の教育施設やレクリエーション施設は、今後、老朽化による対応が必要になっており、持続可能な行政サービスの提供を行うため、計画的な施設整備を行い、町民の健康増進や地域振興を図る。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 羅臼町民温水プールの利用者数(3,000人/年)

＜重点施策＞ スポーツ大会等の開催やスポーツ・レクリエーション施設の整備の促進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
プール利用者数	2,602	2,726	2,810	2,525	2,870	2,930	3,000

■目標設定の考え方

直近5か年の平均伸び率により設定

＜目標＞ 羅臼町農林漁業体験実習館の利用者数(325人/年)

＜重点施策＞ スポーツ大会等の開催やスポーツ・レクリエーション施設の整備の促進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
実習館来館者数	375	275	250	250	275	300	325

■目標設定の考え方

直近2か年(H29及びH30)の水準を勘案の上設定

＜目標＞ 給食供給数(84,390食)

＜重点施策＞ 小中学校等の既存施設の耐震化整備や老朽化対策、スクールバスの整備等の促進

■設定目標及び達成状況

(単位:食数)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
給食供給数	76,830	87,995	91,000	98,000	87,900	86,150	84,390

■目標設定の考え方

羅臼町の児童数などの推計に基づき設定

＜目標＞ 羅臼町郷土資料館の利用者(1,840人/年)

＜重点施策＞ 芸術・文化施設等の設備並びに地域の文化財の保存及び活用等の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分	7期	8期					
		H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)
資料館利用者数	1,736	1,921	1,736	1,950	1,983	2,035	2,035

■目標設定の考え方

利用環境を整備することで観光客の利用が見込まれるため、羅臼町の観光客の入り込み数の伸び率(3%の増)をもとに設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
羅臼町 温水プール 利用者数 (3,000人)	○町民の健康増進を図るため、施設補修や水泳教室の開催等により利用者数の増を図る。	各年齢層への水泳教室の開催（非予算事業） 各世代における水泳教室開催を実施する。 ・幼児 10人×10回=100人 ・小学生 15人×10回=150人 ・一般 10人×10回=100人 ・高齢者 10人×10回=100人
羅臼町 農林漁業 体験実習館 来館者数 (325人)		高校生の水産教室（非予算事業） 高校生による水産教室などを開催し、基幹産業である漁業の後継者育成を図る。
給食供給数 (84,390食)	○設備の修繕等により小中学校における安定した給食供給を行う。	羅臼町農林漁業体験実習館整備事業(基金補助金) 多目的トイレの設置や既存トイレの改修など、施設の設備改修を行い、当施設の機能向上を図る。
羅臼町 郷土資料館 利用者数 (1,840人)	○町民などが安心して利用できるよう施設整備を進め、利用者増を図る。	羅臼町給食センター整備事業(基金補助金) 施設の設備改修を行い、当施設の機能向上を図る。 (トラックイン式消毒保管機、連続炊飯システム更新事業) 羅臼町郷土資料館整備事業(基金補助金) 多目的トイレの新設及び既設トイレの改修を行い、当施設の機能向上を図る。

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	社会・経済の安定的な発展の基盤の形成
施策項目	国土の保全及び水資源の開発

1. 目指す姿

当町では、近年台風や低気圧の影響による土砂災害等が頻発している状況にあることから、局地的な豪雨等による山地災害発生箇所の早期復旧を進めるとともに、重点的な予防対策や高波などによる浸水や海岸浸食を防止する海岸保全対策を推進する。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 治山事業の着実な推進

＜重点施策＞ 山地災害発生箇所の早期復旧及び山地災害危険地区における予防対策のための治山施設、保安林の整備の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:箇所)

区分 年度	7期 H29 (実績)	8期					
		H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
治山事業箇所	6	14	10	10		着実な整備	

■目標設定の考え方

山地災害発生箇所の早期復旧を進めるとともに、重点的な予防対策を図る。

＜目標＞ 海岸高潮対策の着実な推進

＜重点施策＞ 高波などによる浸水、海岸侵食被害の軽減化に向けた海岸保全施設等の整備の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:箇所)

区分 年度	7期 H29 (実績)	8期					
		H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
海岸保全施設箇所	8	10	9	9		着実な整備	

■目標設定の考え方

高潮などによる浸水、海岸侵食被害の軽減化に向けた海岸保全の整備を進める。

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
治山事業 (着実な整備)	○関連事業の実施に向けた要望活動を実施する。	治山事業の推進(道単独事業) 山地災害発生箇所の早期復旧及び山地災害の危険地区における予防対策に向けた整備促進を図る。(関係機関に要望)
海岸高潮対策 (着実な整備)	○関連事業の実施に向けた要望活動を実施する。	海岸保全施設等の整備の推進(道単独事業) 地震などによる津波発生に備えた海岸対策の充実に向けた整備促進を図る。(関係機関に要望)

令和2年度 実施計画

資料2

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	社会・経済の安定的な発展の基盤の形成
施策項目	災害対策の推進

1. 目指す姿

当町は知床半島の南側に位置し、集落間には大小多数の河川が流れしており、自然災害による影響を受けやすい地域であり、また、冬期間においては、国道334号線が冬期通行止となるため、国道335号線及び道々知床公園羅臼線が地震、津波災害により通行止めとなつた際、迂回路も無く、集落及び羅臼町全体が孤立状態となる危険性がある。

また、急峻な地形が多いため、大雨による土砂災害被害のリスクが高く、活火山を擁することから、火山活動による被害も考えられている。

このような、地域特性を抱えていることから、様々な災害に備えることが求められており、情報伝達手段や防災備蓄品の整備を行い、災害に強いまちづくりを推進するとともに、防災訓練や啓発活動を通じて地域住民の防災意識の高揚を図っていく。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

＜目標＞ 自主防災組織の設立（17町内会で設立）

＜重点施策＞ 地域での防災力の強化に向けた自主防災組織などの育成の推進

■設定目標及び達成状況

（単位：町内会）

区分	7期		8期					
	年度	H29 (実績)	H30 (目標)	R1 (目標) (実績見込)		R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
■設定目標及び達成状況	自主防災組織数	14	14	14	14	15	16	17

■目標設定の考え方

現在、全17町内会の内、14町内会で自主防災組織が設立されており、設立されていない3町内会の設立を目指す。

＜目標＞ 防災登録制メール登録者数（1,000人）

＜重点施策＞ 住民に対する防災情報の伝達手段の充実や、防災知識普及のための各種講演会の開催、防災活動リーダーの育成支援などの取組の推進

■設定目標及び達成状況

（単位：人）

区分	7期		8期					
	年度	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (目標) (実績見込)		R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
■目標設定の考え方	防災登録制 メール登録者数	550	652	700	708	800	900	1,000

■目標設定の考え方

災害発生が予測される際の注意喚起や、発災時の被害軽減・情報提供のため、総人口の5分の1の登録を目指す。

＜目標＞ 防災訓練の参加者数(1,700人)

＜重点施策＞ 住民に対する防災情報の伝達手段の充実や、防災知識普及のための各種講演会の開催、防災活動リーダーの育成支援などの取組の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:人)

区分 年度	7期 H29 (実績)	8期					
		H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
防災訓練の参加者数	1,333	1,323	1,400	1,320	1,500	1,600	1,700

■目標設定の考え方

これまでの防災訓練は概ね総人口の4分の1が参加しているが、多くの災害のリスクがある当町において、更なる防災意識の高揚を図るため、総人口の3分の1以上の参加者数を目指す。

＜目標＞ 防災備蓄品の更新

＜重点施策＞ 防災資機材、非常用食料などの備蓄や確保への取組の推進

■設定目標及び達成状況

(単位:%)

区分 年度	7期 H29 (実績)	8期					
		H30 (実績)	R1 (目標)	(実績見込)	R2 (目標)	R3 (目標)	R4 (目標)
防災備蓄品の更新	100	100	100	90	100	100	100

■目標設定の考え方

「羅臼町災害時備蓄計画」に基づき設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
自主防災組織の設立 (17町内会)	○様々な災害に対応できるよう災害時の情報伝達手段の確保、防災備蓄品の整備などを行う。	自主防災組織の設立（非予算事業） 未設立の町内会（3町内会）については、設立の必要性の説明及び、必要に応じた書類作成のサポートを行い、全町内会での設立を図る。
防止登録制 メール登録者数 (1,000人)		災害時の情報伝達手段の推進（非予算事業） 全世帯配布される町発行の広報誌等を通じ、登録制メールの必要性と有益性を周知し、登録者増加を図る。
防災訓練の 参加者数 (1,700人)		防災啓発事業（非予算事業） 全世帯配布される町発行の広報誌等を通じ、訓練の必要性を周知、一般市民参加者の増加を図る。また、一般企業、関係団体、学校等との連携によりコミュニティ単位での参加も促す。
防災備蓄品の 更新 (100%)		防災備蓄品整備事業（加速化補助金） これまで整備した防災備蓄品（食糧・飲料水）について、平成29年度から賞味期限を迎えることから、毎年度順次更新を行う。